

物流業務ビジネスモデル標準書

社団法人日本ボランタリー・チェーン協会

目 次

1 . H B C チェーン物流業務ビジネスモデル標準	1
1 . 1 . 概要	1
1 . 2 . H B C チェーン本部と取引先間の定番商品調整に関する業務標準	3
1 . 3 . 取引先とH B C チェーン本部およびH B C チェーン店舗間 の欠品発生時の運用に関する業務標準	7
1 . 4 . 取引先とH B C チェーン本部およびH B C チェーン店舗間 の返品に関わる業務標準	10
1 . 5 . 取引先およびH B C チェーン本部とH B C チェーン店舗間 の検品に関わる業務標準	13
1 . 6 . H B C チェーン店舗における発注業務に関わる標準	15
2 . H B C チェーン物流E D Iの標準および物流ラベルの標準	17
2 . 1 . 発注情報の標準	17
2 . 2 . 代替商品案内情報の標準	19
2 . 3 . 出荷指示情報の標準	21
2 . 4 . 事前出荷案内情報の標準	22
2 . 5 . 出荷確定情報の標準	24
2 . 6 . 入荷検品確定情報の標準	25
2 . 7 . 物流ラベルの標準	26

1 . H B C チェーン物流業務ビジネスモデル標準

1 . 1 . 概要

1 . 1 . 1 . 目的

本ビジネスモデル標準の目的は、H B C チェーン店舗を起点とし、H B C チェーン本部を中心とした商品供給にかかる物流業務を、効率的かつスムーズに運用するためのビジネスモデルの策定と、H B C チェーン業界の商慣習を考慮した、H B C チェーン店舗からH B C チェーン本部、もしくは取引先への返品ルールの策定を行うものである。これにより、

大量廉価購入商品見込み在庫に依存する既存のビジネスモデルから、定番商品のみを在庫し、非定番商品はH B C チェーン店舗からの受注に基づく通過型（クロスドック型）物流への改善

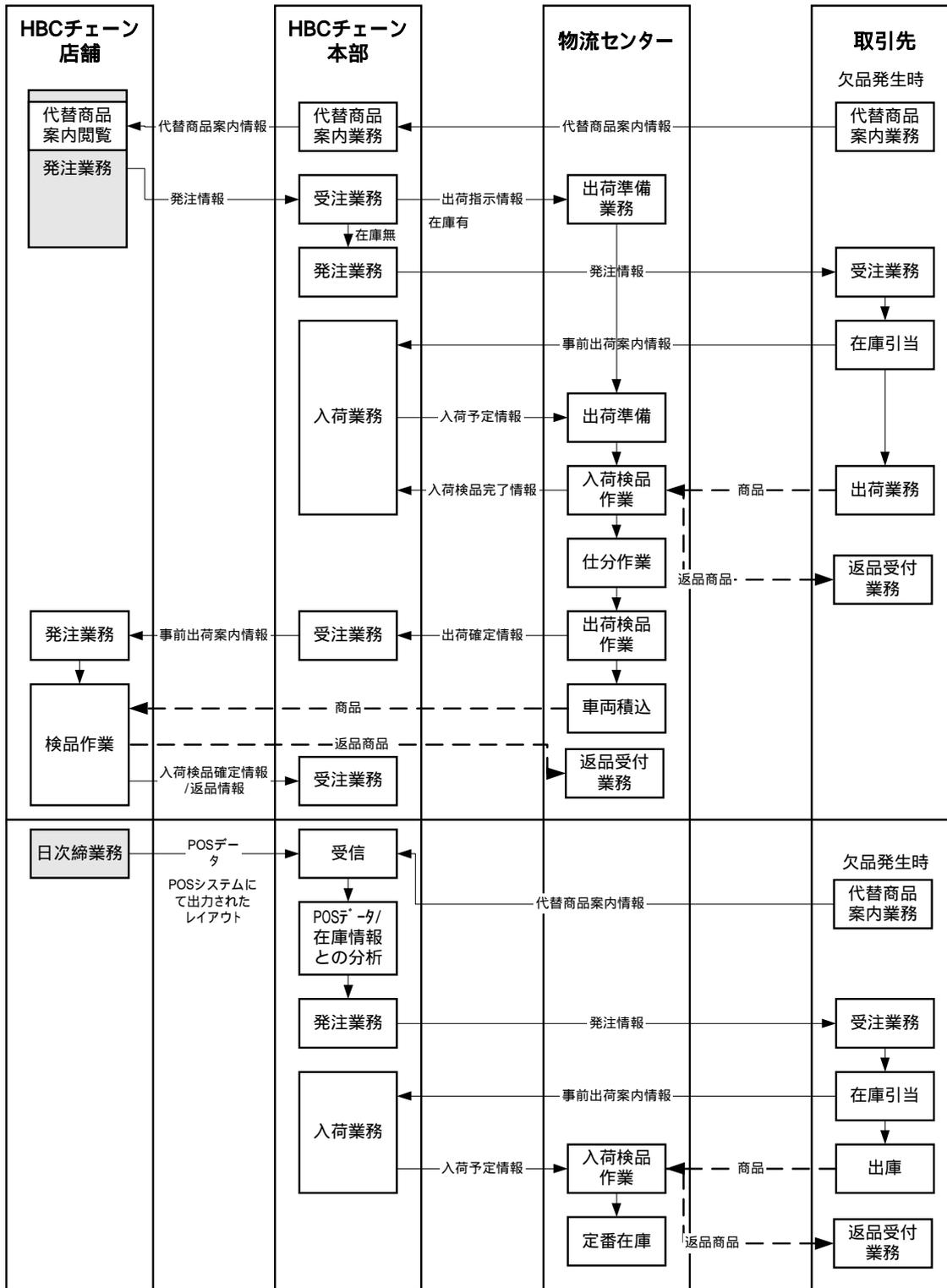
H B C チェーン店舗における最適発注数量の管理、欠品による機会損失の削減等により、H B C チェーン全体での中間流通在庫の削減と、H B C チェーン店舗個々の営業体質の強化の実現

H B C チェーン店舗において、取引先ごとに行っている手作業による発注・入荷検品業務を情報化により省力化し、本来の店頭営業に専念できる仕組みの構築
取引先において、個々のH B C チェーン店舗別対応となっている受注業務・納入業務のH B C チェーン本部集中による効率化、H B C チェーン全体における効率化、利益向上および営業体質の強化

といった点を実現させ、H B C チェーン全体の効率向上と利益体質の強化に貢献することを旨とする。

1 . 1 . 2 . 本標準におけるビジネスモデルと情報の流れ

本標準におけるビジネスモデルと情報の流れを次の通り定義する。



: 業務処理項目または作業内容
 —————▶ : 情報の流れ
 - - - - -▶ : モノ (商品) の流れ

1.2. HBCチェーン本部と取引先間の定番商品調整に関する業務標準

1.2.1. 標準の内容

(1) 定番品の定義

HBCチェーン業界における定番とするカテゴリーは以下の通りとする。

a) 医薬品	h) 健康食品
b) 医療用品 / 衛生材料	i) 食品 (菓子・ドリンク含む)
c) ヘアケア用品	j) 文具、玩具
d) ベビー用品	k) ペット用品
e) 介護用品	l) 小物家電
f) 化粧品	m) その他
g) 日用雑貨	

HBCチェーン店舗における定番品は以下のように定義する。

- ナショナルブランド商品であり、かつ消費者の認知が高い商品
- 消費者が常に必要とするものではないが、非常時には必ず必要とする商品
- HBCチェーン店舗において利益率又は利益貢献度が高い商品

(2) 適正在庫の定義

適正在庫を定義する上で、前提となる条件として次の項目が挙げられる。

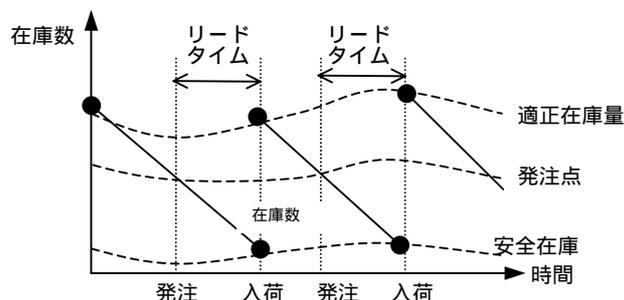
- 欠品しない
- 過剰な在庫を持たない

そのためには、次の項目を考慮しなければならない。

取引先へ発注を行ってから、実際に納品され販売できる状態になるまでの日数 (リードタイム)

過去の販売実績から計算される、上記の期間中に売れるであろう販売予測数

以上の結果に、天候・季節などを考慮して調整した数量を適正在庫と定義する。

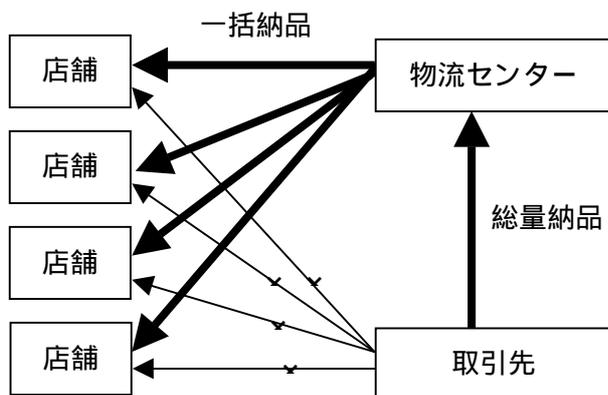


(3) 最適物流の定義

HBCチェーン業界における最適物流を次のように定義する。

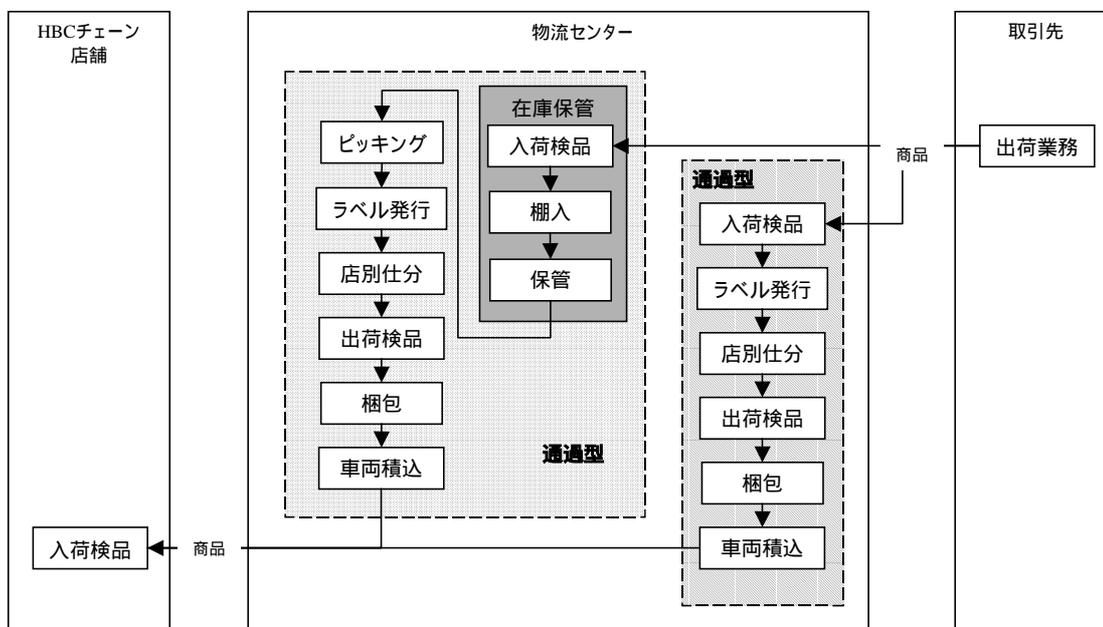
取引先が個別にHBCチェーン店舗へ納品を行う形態を改め、物流センターへ総量納品を行い、物流センターからHBCチェーン店舗へ一括納品を行う。これにより、取引先か

らHBCチェーン店舗へ個別配送される場合と比較して、HBCチェーン全体の総物流量を削減すると同時に、HBCチェーン店舗において必要となる検品回数の軽減を行う。HBCチェーン業界における最適物流を次のように定義する。



(4) クロスドック型物流センターの業務フローの定義

以下のようにクロスドック型物流センターの業務を定義する。



(5) HBCチェーン本部と取引先間の定番品調整に関する業務標準

HBCチェーン本部と取引先間の定番品調整について、以下の手順をもとに業務を行う

ことを業務標準と定める。

特定の一定期間におけるHBCチェーン店舗の定番品販売状況をHBCチェーン本部にて集約

取引先からの定番品のリードタイムの確認

上記のリードタイムにおけるHBCチェーン店舗での定番品の販売数量を上記から試算

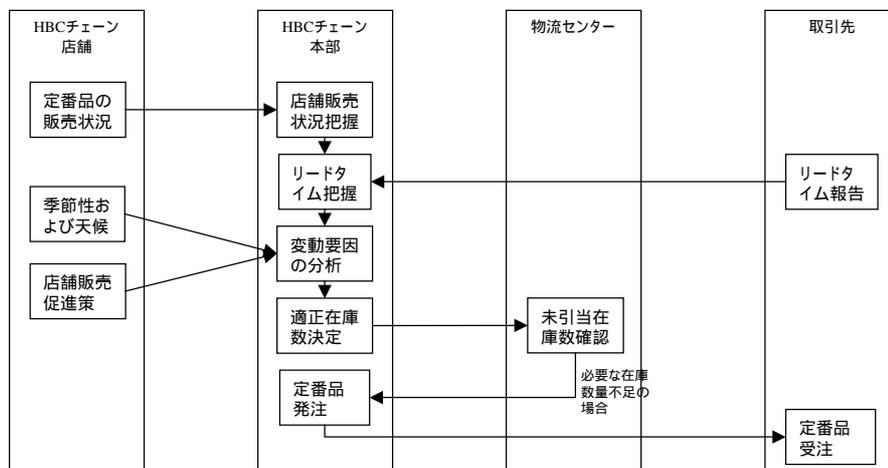
上記に加え、HBCチェーン店舗にて起こりうる販売数量増減要素の見通しや天候・季節などを考慮した数量を試算

上記に対してHBCチェーン本部（含む物流センター）において引き当てされていない在庫数量を差し引き、その時点において適正在庫に達する商品数量を試算

上記が正の数（すなわち適正在庫数量が未引当在庫数量より少ない場合）であれば、上記の数量分だけ発注する。上記が負の数（すなわち適正在庫数量が未引当在庫数量より多い場合）には、HBCチェーン本部および物流センターにおける定番品の未引当在庫数量が適正在庫になるまで発注しない。

その定番品がにおける定義において定番品とはならなくなるまで、上記からまでの業務を繰り返し行う。

尚、本ビジネスモデル標準による業務フローを以下の通りと定める。



(6) HBCチェーン本部から取引先への発注に関する業務標準の定義

HBCチェーン本部から取引先への発注に関する業務標準は、以下の手順をもとに行うものとする。

HBCチェーン店舗からの発注情報をHBCチェーン本部にて集約

HBCチェーン本部に集約された発注情報に、発注者であるHBCチェーン店舗のエリア情報を付加

上記のエリア情報付き発注情報をエリア別にグルーピングする

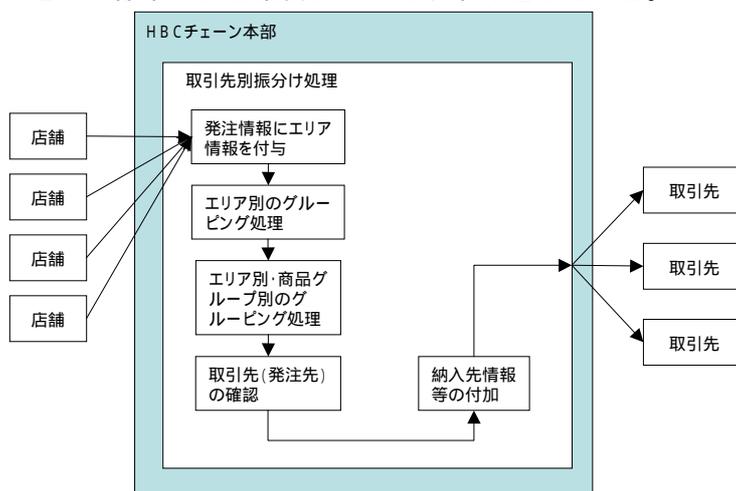
上記のエリア別にグルーピングされた発注情報を、さらにエリア別・商品グルー

別別にグルーピングする

HBCチェーン本部において、上記のグルーピングされた発注情報に対して発注先となる取引先を確認

上記に対して納入先情報等を付加し、各取引先へ発注として渡す

尚、本ビジネスモデル標準による業務フローは以下の通りである。



(7) 総括

定番商品の取り扱いについては、利益率や利益貢献度、商品の回転率等を十分に考慮しつつ商品の選定を行う。また、商品の販売状況を常に把握し、定番商品のラインナップを定期的に見直すと共に、定番商品のリードタイムの確認と適正在庫の水準を保ち、HBCチェーン全体における欠品を防ぐことが物流業務上の標準となる。

1.3.取引先とHBCチェーン本部およびHBCチェーン店舗間の欠品発生時の運用に関する業務標準

1.3.1.標準の内容

(1)欠品の定義

HBCチェーン店舗における欠品

HBCチェーン店舗における欠品の定義を次のように定める。

- HBCチェーン店舗において、特定の商品の在庫がないために消費者に対し販売できない状態

但し、以下の場合には欠品とはならない。

- HBCチェーン本部または物流センターにおいて商品の在庫がない場合であっても、取引先からの仕入により、HBCチェーン店舗に対して特定の期日までに商品の納品が可能である場合
- 取引先において、特定の商品が製造中止や在庫切れなどの理由により出荷できない場合、かつ代替商品案内が事前にHBCチェーン店舗に対して行われており、代替案内を行った商品以外の発注が行われない場合
- HBCチェーン店舗における発注時のミスを起因とする場合

HBCチェーン本部における欠品

HBCチェーン本部における欠品を以下のように定める。

- HBCチェーン本部または物流センターにおいて出荷可能な商品在庫がなく、取引先に対して発注を行っても、HBCチェーン店舗への納期までに商品調達ならびに出荷が出来ない状態

取引先における欠品

取引先における欠品を以下のように定める。

- H B C チェーン本部からの発注に対し、納期までに商品が出荷できない状態にあり、かつ代替商品案内を出す前に受注を受け付けている状態

(2) 代替商品の定義

H B C チェーン業界における代替商品の定義を以下のように定める。

下記 3 点のいずれかの理由により、取引先から H B C チェーン本部への商品供給ができなくなる場合に、商品の欠品による売上機会のロスを低減するため、代替商品の選定を行う。

取引先に商品在庫がなく、H B C チェーン本部への納期が未定の場合、または納期が確定しているがその期日が H B C チェーン本部および H B C チェーン店舗の要望する納期に間に合わない場合

商品自体の製造が中止されている、またはブランド自体の製造が中止となっている場合

同一ブランドでの商品のリニューアルにより、従来、取引先から H B C チェーン本部に供給されていた商品の供給ができなくなった場合

また、特定の商品に対する代替商品の選定は、取引先からの代替商品案内を基に、以下のような項目を考慮し H B C チェーン本部で決定され、H B C チェーン店舗に対して案内される。加えて、代替商品となり得る商品が複数存在する場合には、H B C チェーン店舗の個々の判断において最適と思われる代替商品を選択する。

成分、効能、および薬効の類似性

商品の持つ機能の類似性

商品のサイズおよび容量

商品の価格

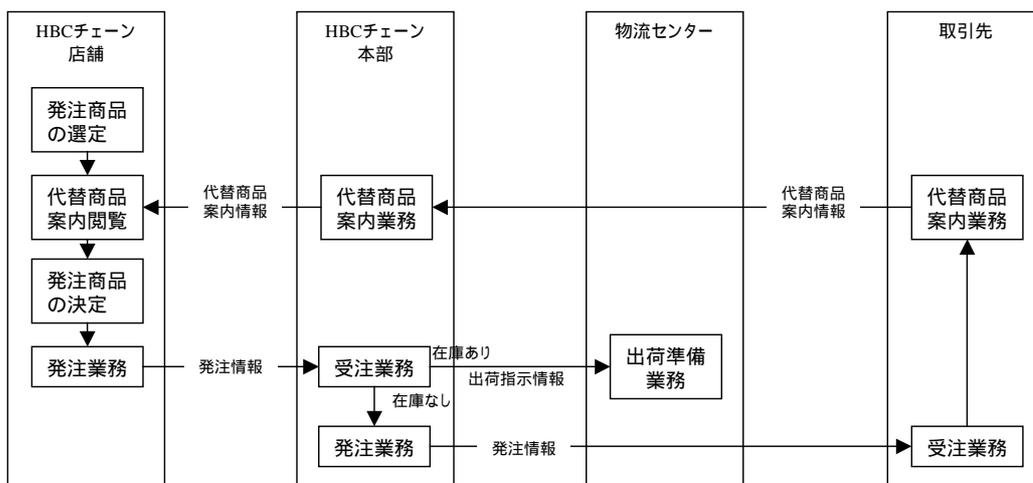
消費者のブランドスイッチの容易性

利益率または利益貢献度

リニューアル後の商品

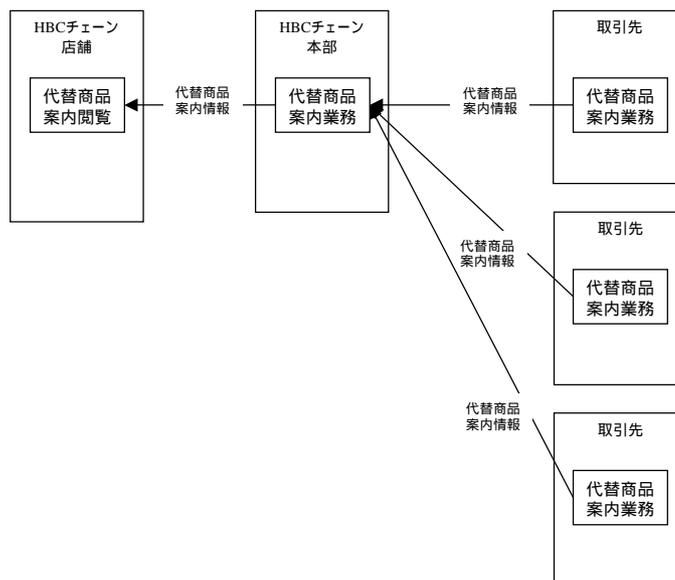
(3) 欠品発生時の業務フロー

H B C チェーン店舗および取引先における欠品発生時において、H B C チェーン店舗は代替商品案内を参照した上で発注すべき商品を決定する。従って、欠品発生時の業務フローを以下のように定める。



(4) 代替商品提案のフロー

HBCチェーン業界における代替商品提案のフローを次のように定義する。



(5) 総括

欠品発生時の運用においては、HBCチェーン店舗における欠品発生を出来る限り防止することを目的とした運用が必要となる。その為に、HBCチェーン業界全体における代替商品情報のタイムリーな共有が出来る体制の構築を行う。加えて、HBCチェーン店舗においては、代替商品案内を適切に反映した発注を行うことが必要となる。

1.4.取引先とHBCチェーン本部およびHBCチェーン店舗間の返品に関わる業務標準

1.4.1.標準の内容

(1)返品の定義

HBCチェーン業界における返品は、HBCチェーン本部またはHBCチェーン店舗において、以下のような事由により、消費者への最終的な販売が困難となる商品在庫の処理方法、または消費者への最終的な販売を行うべきではないと判断される商品在庫の処理方法とする。

商品の有効期限または使用期限が消費者に販売できる日時と近いもの

商品運送時の破損、変形、その他外観が正常でない状態にある商品

商品の保管・陳列時の破損、変色、変形、その他外観が正常でない状態にある商品

商品のリニューアル

HBCチェーン店舗における棚の入れ替え

取引先の自主回収

特定商品（PB、キャラクター商品、菓子類、清涼飲料水など）

取引先またはHBCチェーン本部における出荷作業のミスによる誤納品

季節商品の入れ替え

(2)返品可能商品の定義

HBCチェーン業界における返品可能商品は、以下の通り定義するものとする。

取引先およびHBCチェーン本部間の取引条件により、取引先がHBCチェーン本部および物流センターの在庫商品の回収、引き取り、または買戻しを行う対象とする商品

HBCチェーン本部およびHBCチェーン店舗間の取引条件により、HBCチェーン本部が、HBCチェーン店舗の在庫商品の回収、引き取り、または買戻しを行う対象とする商品

(3)返品不可能商品の定義

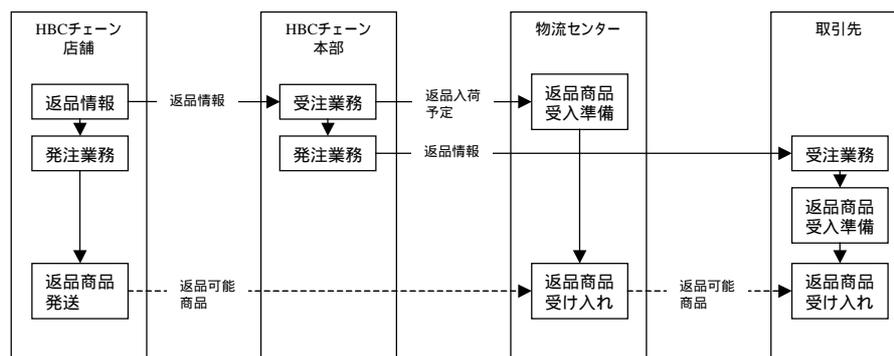
HBCチェーン業界における返品不可能商品は、返品可能商品以外の全ての商品を対象とし、以下の通り定義するものとする。

取引先がHBCチェーン本部および物流センターの在庫商品の回収、引き取り、または買戻しを行わない対象とする商品で、取引先による在庫商品の処分を行う場合には、HBCチェーン本部において、仕入金額に加え処分のための費用を別途負担する必要があるもの

HBCチェーン本部が、HBCチェーン店舗の在庫商品の回収、引き取り、または買戻しを行わない対象とする商品、HBCチェーン本部による在庫商品の処分を行う場合には、HBCチェーン店舗において、仕入金額に加え処分のための費用を別途負担する必要があるもの

(4) 返品業務フローの定義

HBCチェーン物流における返品業務フローを次の通り定義する。



(5) 総括

返品可能商品の引き取りまたは買戻しには、返品前の在庫商品を保有する事業者（取引先に返品を要求するHBCチェーン本部、またはHBCチェーン本部に対し返品を要求するHBCチェーン店舗）における費用負担の発生がある場合と、費用の負担が発生しない場合がある。返品発生元となる事業者における費用負担の有無は、次の通り定義するものとする。

費用負担が発生する場合	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品入荷後、販売に適切な有効期限、賞味期限、使用期限があるもの（目安として、O T C は入荷時の使用期限が1年以上かつ返品時3ヶ月以上あるもの） ● 商品入荷後に、在庫として滞留し、賞味期限を越えてしまったもの ● 保管・陳列時の破損、変色、変形、変質 ● H B C チェーン店舗における棚の入れ替え ● 発注者による発注ミス ● 災害・天災による破損、変色、変形、変質 ● その他、個別の取引契約等で、出荷元による費用負担の免責条項に該当する事項
費用負担が発生しない場合	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品入荷後、販売に適切な有効期限、賞味期限、使用期限がないもの（目安として、O T C は入荷日と使用期限が1年未満のもの、食品は賞味期限が1年間のものは60%未満、6ヶ月間のものは40%未満しか残っていないもの） ● 商品のリニューアルにより、取引先がリニューアル前の商品の回収を行う場合 ● 運送時の破損、変色、変形、変質 ● 取引先の自主回収 ● 出荷作業のミスによる誤納品 ● その他、個別の取引契約等で、返品発生元となる事業者の費用負担が免除される事項に該当する場合

1.5.取引先およびHBCチェーン本部とHBCチェーン店舗間の検品に関わる業務標準

1.5.1.標準の内容

(1)事前出荷案内情報の定義

事前出荷案内は、商品の供給者（出荷元）が購買者（出荷先）に対して、商品出荷に先立ち渡す情報である。購買者は供給者からの事前出荷案内を元に、入荷受け入れのための人員のシフトや作業スペースの確保などを事前に行う事により、商品の入荷・検品作業の効率化を図ることが可能となる。また、供給者は、事前出荷案内の提供により、売掛金の金額確定を事前に行う事が可能となる。HBCチェーン業界においては、以下の2パターンの事前出荷案内がある。

- 取引先から物流センターに納品される商品に関する事前出荷案内
- 物流センターから出荷され、HBCチェーン店舗へ納品される商品に関する事前出荷案内

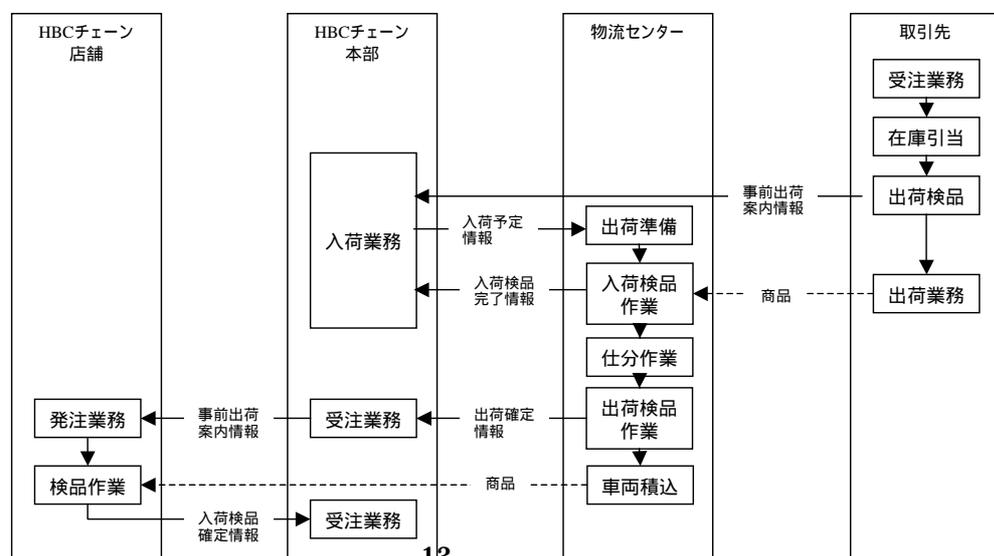
(2)入荷検品確定情報の定義

出荷元から商品が出荷され出荷先に納品された後に、出荷先にて検品を行い、その結果を入荷検品確定情報として出荷元へ渡す。入荷検品確定情報は出荷先において発注残の消し込みにも活用される。入荷検品確定情報は、以下の2パターンある。

- 物流センターへの納品分に関して、HBCチェーン本部から取引先へ渡す入荷検品確定情報
- HBCチェーン店舗への納品分に関して、HBCチェーン店舗からHBCチェーン本部へ渡す入荷検品確定情報

(3)出荷検品から入荷検品までの業務フローの定義

HBCチェーン店舗、HBCチェーン本部、および取引先間の出荷検品から入荷検品までの業務フローは、以下の通りである。



(4) 総括

事前出荷案内および入荷検品確定は、HBCチェーン業界におけるデマンドチェーン全体の業務効率を向上させる事が目的である。出荷元から納品される商品の精度を把握し、ミスや予測の誤差をなくすための業務改善を行い、HBCチェーン全体の物流の最適化を実現するために必要となるデータの内容を標準として定める。

加えて、突発的な商品の回収や追跡調査など、商品の流通ルートを把握する必要性に応じることができるデータの内容を標準に盛り込む。

1.6. HBCチェーン店舗における発注業務に関わる標準

1.6.1. 標準の内容

(1) 発注の定義

発注は、HBCチェーン店舗におけるHBCチェーン本部への商品の仕入れの意思表示であり、以下の2つのケースがある。

在庫品：適正在庫水準を保持するタイミングで発注を行う

客注：消費者の要望により発注を行う

(2) 適正在庫の定義

適正在庫を定義するうえで、前提となる条件として次の項目が挙げられる。

- HBCチェーン店舗における店舗在庫を欠品しない
- 過剰な店舗在庫を持たない

そのためには、次の項目を考慮しなければならない。

HBCチェーン本部へ発注を行ってから、実際にHBCチェーン店舗に納品され、棚への陳列が完了した後に販売できる状態になるまでの日数（リードタイム）

過去の販売実績から予測される上記の期間中に売れるであろう販売予測数

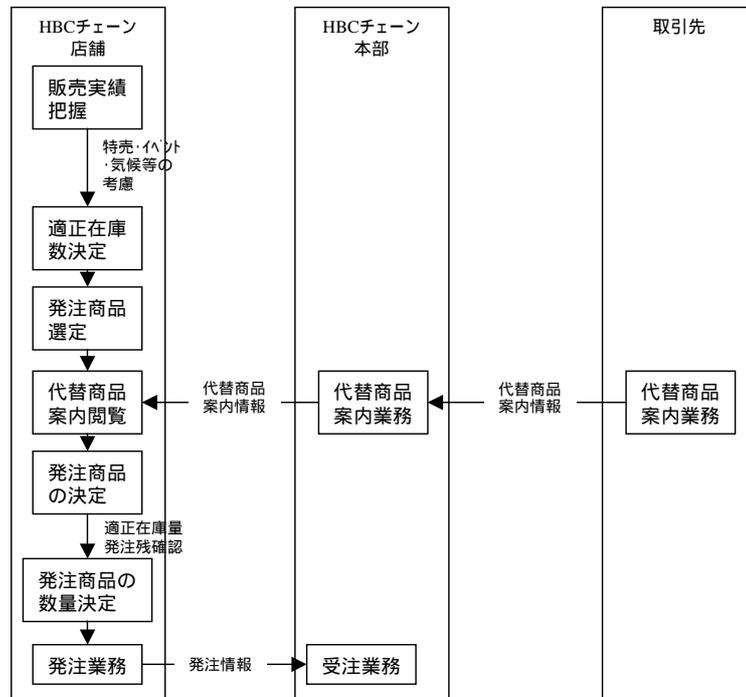
以上の結果に、天候、季節、HBCチェーン店舗の立地周辺におけるイベント、個々の店舗における販売促進の実施計画などを考慮して調整した数量を適正在庫と定義する。

(3) 発注数量管理の定義

HBCチェーン店舗にある在庫の金額と数量の両方を管理する。HBCチェーン店舗において、HBCチェーン本部に対して発注した履歴を管理し、発注残を適時把握する。加えて、HBCチェーン店舗における販売動向の把握をしつつ、適正在庫の常時見直しを行う。以上の点を実現することが発注数量管理である。

(4) 発注業務フローの定義

HBCチェーン店舗の店頭在庫の削減と欠品の防止を目的として、以下のように発注業務のフローを定義する。



(5) 総括

発注業務では経営的視点と営業管理的視点の両面を考慮した発注業務を行う。経営的視点においては適正在庫水準を保ちつつ、発注商品の選定と発注量の決定を行う。営業管理的視点においては、代替商品を正しく把握すると共に、特売やイベントなど販売数量を左右しうる事項を加味し、発注商品の選定と発注量の決定を行う。

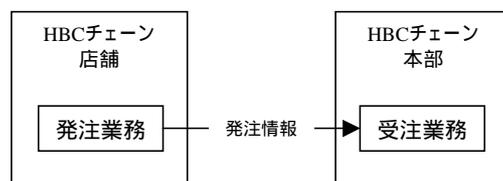
2. HBCチェーン物流EDIの標準および物流ラベルの標準

2.1. 発注情報の標準

2.1.1. 標準の内容

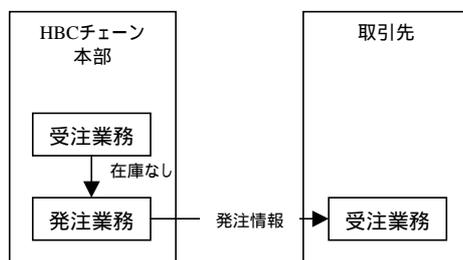
(1) HBCチェーン店舗およびHBCチェーン本部間の発注情報

店舗における適正在庫を維持しつつHBCチェーン店舗がHBCチェーン本部に対して商品の発注を行う。HBCチェーン本部では、HBCチェーン店舗からの発注情報を基に、受注処理を行う。この時に使用されるEDIメッセージ標準である。



(2) HBCチェーン本部および取引先間の発注情報

HBCチェーン店舗からの発注情報を基に、HBCチェーン本部にて受注され、取引先に対して発注業務を行う。この時に使用されるEDIメッセージ標準である。



(3) 発注情報の内容

以下のレコード形成を発注情報項目標準とするものとする。

HBCチェーン店舗およびHBCチェーン本部間の発注情報

項番	項目名称	属性	設定内容
1	発注先コード	9(08)	発注先コード
2	納品先コード	9(08)	納品先コード
3	発注日	Y(08)	発注日(YYYYMMDD)
4	納品指定日	Y(08)	納品指定日(YYYYMMDD)
5	伝票番号	9(10)	
6	行番号	9(02)	「01」～「09」
7	商品コード区分	9(01)	JANコード:0、ITFコード:1
8	商品コード	X(16)	JANコードまたはITFコード
9	入数	9(04)	ケースあたりの入数
10	発注数	9(05)	単品の発注数量
11	原単価	9(07)V99	原単価
12	売単価	9(07)	売単価
13	商品名・規格	X(25)	商品名(カナ)
14	予備	X(09)	スペース

HBCチェーン本部および取引先間の発注情報

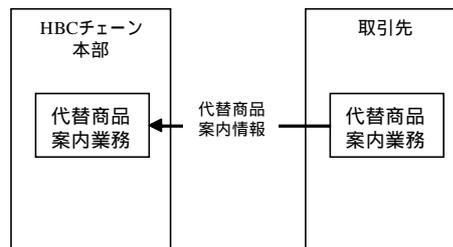
項番	項目名称	属性	設定内容
1	発注先コード	9(08)	発注先コード
2	納品先コード	9(08)	納品先コード
3	発注日	Y(08)	発注日(YYYYMMDD)
4	納品指定日	Y(08)	納品指定日(YYYYMMDD)
5	伝票番号	9(10)	
6	行番号	9(02)	「01」～「09」
7	商品コード区分	9(01)	JANコード:0、ITFコード:1
8	商品コード	X(16)	JANコードまたはITFコード
9	入数	9(04)	ケースあたりの入数
10	発注数	9(05)	単品の発注数量
11	原単価	9(07)V99	原単価
12	売単価	9(07)	売単価
13	商品名・規格	X(25)	商品名(カナ)
14	予備	X(09)	スペース

2.2. 代替商品案内情報の標準

2.2.1. 標準の内容

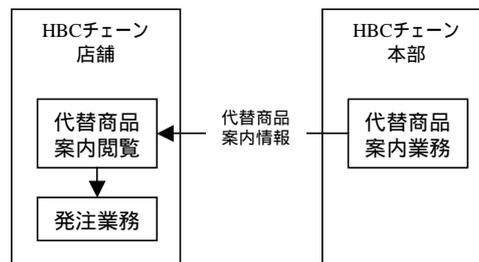
(1) 取引先およびHBCチェーン本部間の代替商品案内情報

在庫欠品、製造中止による受注停止、商品の使用における安全性の確保に不確実性があることを理由とした出荷停止などの理由により、取引先において特定の商品の供給がHBCチェーン本部に対して出来ない場合に、取引先からHBCチェーン本部に対して代替商品案内情報を渡す。この時に使用するEDIメッセージ情報である。



(2) HBCチェーン本部およびHBCチェーン店舗間の代替品案内情報

HBCチェーン本部では、取引先からの代替商品案内情報を基に、HBCチェーン店舗に対して代替商品の案内を行ない、HBCチェーン店舗において、発注業務の際に代替商品案内を利用して発注を行う。この時に使用するEDIメッセージ情報である。



(3) 代替品案内の内容

以下のレコード構成を代替品案内項目標準とするものとする。

取引先およびHBCチェーン本部間の代替品案内

項番	項目名称	属性	設定内容
1	代替元商品コード	X(13)	JANコード
2	代替元商品名	X(25)	
3	代替商品案内開始日	Y(08)	
4	代替商品案内終了日	Y(08)	
5	代替理由コード	9(02)	01:欠品、02:製造中止、03:リニューアル、04:その他 99:代替商品なし
6	代替理由詳細	X(100)	代替理由の詳細
7	代替商品コード	X(13)	JANコード
8	代替商品名	X(25)	
9	入数	9(04)	ケースあたりの入数
10	発注単位数	9(04)	
11	原単価	9(07)V99	原単価
12	売単価	9(07)	売単価
13	代替商品提案コード	9(02)	01:成分・効能・薬効類似、02:機能類似、03:サイズ・容量 04:価格、05:ブランドスイッチ、06:利益、07:リニューアル、 08:その他
14	代替商品詳細	X(100)	代替商品の詳細
15	予備	X(09)	スペース

HBCチェーン本部およびHBCチェーン店舗

上記「5.4.3.(3)-1」取引先およびHBCチェーン本部間の代替品案内」に同じ。

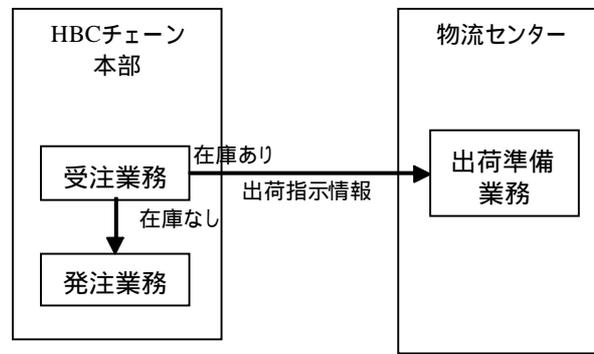
2.3. 出荷指示情報の標準

2.3.1. 標準の内容

(1) HBCチェーン本部および物流センター間の出荷指示情報

HBCチェーン店舗からの発注情報を基に、HBCチェーン本部にて受注され、物流センターに在庫がある場合に、HBCチェーン本部にて出荷指示情報が作成され、物流センターに渡される

また、物流センターでは、HBCチェーン本部からの出荷指示情報に従い、出荷作業を行う。この時に使用するEDIメッセージ情報である。



(2) 出荷指示情報の内容

以下のレコード構成を出荷指示項目標準とするものとする。

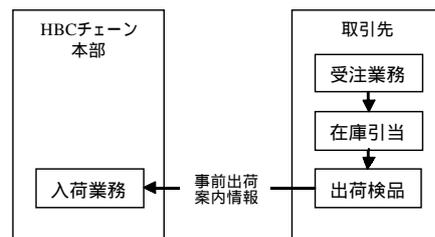
項番	項目名称	属性	設定内容
1	発注先コード	9(08)	発注先コード
2	納品先コード	9(08)	納品先コード
3	発注日	Y(08)	発注日(YYYYMMDD)
4	納品指定日	Y(08)	納品指定日(YYYYMMDD)
5	伝票番号	9(10)	
6	行番号	9(02)	'01' ~ '09'
7	商品コード区分	9(01)	JANコード:0、ITFコード:1
8	商品コード	X(16)	JANコードまたはITFコード
9	入数	9(04)	ケースあたりの入数
10	発注数	9(05)	単品の発注数量
11	原単価	9(07)V99	原単価
12	売単価	9(07)	売単価
13	商品名・規格	X(25)	商品名(カナ)
14	予備	X(09)	スペース

2.4. 事前出荷案内情報の標準

2.4.1. 標準の内容

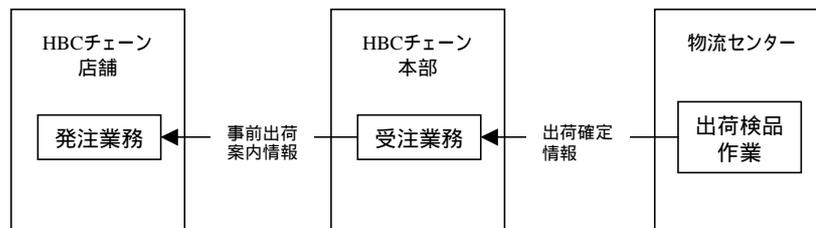
(1) 取引先およびHBCチェーン本部間の事前出荷案内情報

HBCチェーン本部の発注を基に、取引先が受注業務を行い在庫引当を行う。在庫引当が行われた場合、取引先はHBCチェーン本部に対し、事前出荷案内情報を渡す。この時に使用されるEDIメッセージ標準である。



(2) HBCチェーン本部からHBCチェーン店舗間の事前出荷案内情報

物流センターは、出荷検品作業を行いHBCチェーン本部に対して出荷確定情報を渡す。HBCチェーン本部は、出荷確定情報を基に、受注業務の内容と照らし合わせ、HBCチェーン店舗に対して出荷確定情報を渡す。この時に使用されるEDIメッセージ情報である。



(3) 事前出荷案内情報の内容

以下のレコード構成を事前出荷案内情報の標準とするものとする。

引先およびHBCチェーン本部間の事前出荷案内情報

項番	項目名称	属性	設定内容
1	発注先コード	9(08)	発注先コード
2	納品先コード	9(08)	納品先コード
3	発注日	Y(08)	発注日(YYYYMMDD)
4	納品指定日	Y(08)	納品指定日(YYYYMMDD)
5	伝票番号	9(10)	
6	行番号	9(02)	「01」～「09」
7	商品コード区分	9(01)	JANコード:0、ITFコード:1
8	商品コード	X(16)	JANコードまたはITFコード
9	入数	9(04)	ケースあたりの入数
10	出荷数	9(05)	単品の出荷数量
11	欠品区分	9(02)	01:欠品なし、02:欠品あり
12	欠品数量	9(05)	欠品数量
13	原単価	9(07)V99	原単価
14	売単価	9(07)	売単価
15	商品名・規格	X(25)	商品名(カナ)
16	予備	X(09)	スペース

HBCチェーン本部からHBCチェーン店舗間の事前出荷案内情報

項番	項目名称	属性	設定内容
1	発注先コード	9(08)	発注先コード
2	納品先コード	9(08)	納品先コード
3	発注日	Y(08)	発注日(YYYYMMDD)
4	納品指定日	Y(08)	納品指定日(YYYYMMDD)
5	伝票番号	9(10)	
6	行番号	9(02)	「01」～「09」
7	商品コード区分	9(01)	JANコード:0、ITFコード:1
8	商品コード	X(16)	JANコードまたはITFコード
9	入数	9(04)	ケースあたりの入数
10	出荷数	9(05)	単品の出荷数量
11	欠品区分	9(02)	01:欠品なし、02:欠品あり
12	欠品数量	9(05)	欠品数量
13	原単価	9(07)V99	原単価
14	売単価	9(07)	売単価
15	商品名・規格	X(25)	商品名(カナ)
16	予備	X(09)	スペース

2.5. 出荷確定情報の標準

2.5.1. 標準の内容

(1) 物流センターおよびHBCチェーン本部間の出荷確定情報

物流センターにて出荷検品作業を行い、HBCチェーン本部に対して出荷確定情報を渡す。HBCチェーン本部において、物流センターから渡された出荷確定情報と受注業務を照らし合わせる。この時に使用されるEDIメッセージ標準である。

(2) 出荷確定情報の内容

以下のレコード構成を出荷確定情報項目標準とするもとする。

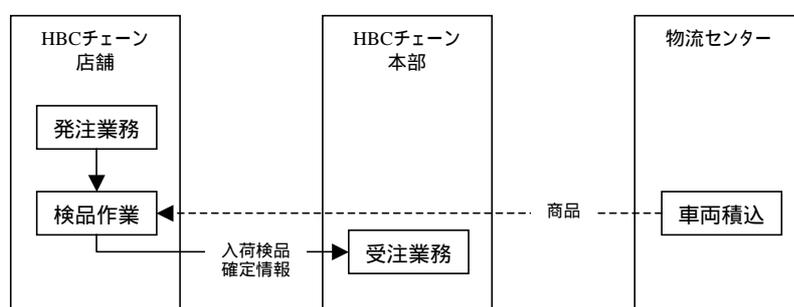
項番	項目名称	属性	設定内容
1	発注先コード	9(08)	発注先コード
2	納品先コード	9(08)	納品先コード
3	発注日	Y(08)	発注日(YYYYMMDD)
4	納品指定日	Y(08)	納品指定日(YYYYMMDD)
5	伝票番号	9(10)	
6	行番号	9(02)	「01」～「09」
7	商品コード区分	9(01)	JANコード:0、ITFコード:1
8	商品コード	X(16)	JANコードまたはITFコード
9	入数	9(04)	ケースあたりの入数
10	出荷数	9(05)	単品の出荷数量
11	欠品区分	9(02)	01:欠品なし、02:欠品あり
12	欠品数量	9(05)	欠品数量
13	原単価	9(07)V99	原単価
14	売単価	9(07)	売単価
15	商品名・規格	X(25)	商品名(カナ)
16	予備	X(09)	スペース

2.6. 入荷検品確定情報の標準

2.6.1. 標準の内容

(1) 物流センター、HBCチェーン本部およびHBCチェーン店舗間の入荷確定情報

物流センターにて出荷された商品がHBCチェーン店舗に納品される。HBCチェーン店舗では、入荷された商品と、HBCチェーン本部への発注内容を照合し、検品作業を行った後、入荷検品確定情報を渡す。HBCチェーン本部では、入荷確定情報と受注業務の照合が行われる。この時に使用されるEDIメッセージ標準である。



(2) 入荷検品確定情報の内容

以下のレコード構成を入荷検品確定情報項目標準とするものとする。

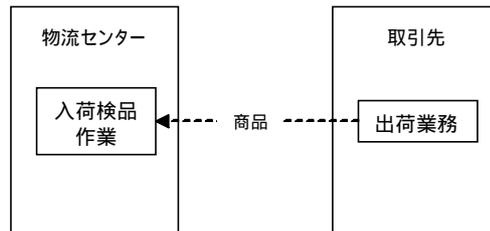
項番	項目名称	属性	設定内容
1	発注先コード	9(08)	発注先コード
2	納品先コード	9(08)	納品先コード
3	発注日	Y(08)	発注日(YYYYMMDD)
4	納品指定日	Y(08)	納品指定日(YYYYMMDD)
5	伝票番号	9(10)	
6	行番号	9(02)	'01' ~ '09'
7	商品コード区分	9(01)	JANコード:0、ITFコード:1
8	商品コード	X(16)	JANコードまたはITFコード
9	入数	9(04)	ケースあたりの入数
10	入荷検品数	9(05)	単品の入荷検品数量
11	返品区分	9(02)	01:返品なし、02:返品あり、03:数量不足
12	返品数量	9(05)	返品数量または不足数量
13	返品理由コード	9(02)	01:運送時破損、02:出荷時商品違い、03:数量間違い(過不足)
14	原単価	9(07)V99	原単価
15	売単価	9(07)	売単価
16	商品名・規格	X(25)	商品名(カナ)
17	予備	X(09)	スペース

2.7. 物流ラベルの標準

2.7.1. 標準の内容

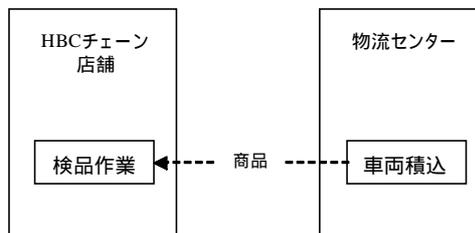
(1) 取引先および物流センター間の物流ラベル

取引先から物流センターへ商品を納入する際、取引先の出荷業務において、物流ラベルを貼付する。この時に使用する物流ラベルである。



(2) 物流センターおよびHBCチェーン店舗間の物流ラベル

物流センターからHBCチェーン店舗へ商品を納入する際、物流センターにおいて、物流ラベルを貼付する。この時に使用する物流ラベルである。



(3) 物流ラベルの内容と表示位置

以下のレコード構成を物流ラベルの標準とするものとする。

示項目および表示内容

項番	項目名称	属性	内容
1	店舗コード	9(08)	店舗のコード
2	店舗名	K(40)	店舗の漢字名称
3	店舗住所	K(100)	店舗の漢字住所
4	店舗電話番号	X(20)	店舗の連絡先電話番号
5	出荷日	Y(08)	出荷作業を行った日付
6	納品日	Y(08)	店舗納品日
7	出荷元物流センター名	K(40)	出荷元物流センターの漢字名称
8	出荷元物流センター住所	K(100)	出荷元物流センターの漢字住所
9	出荷元物流センター電話番号	K(100)	出荷元物流センターの連絡先電話番号
10	出荷個口	9(03)	出荷総個口数に対するシーケンス
11	出荷総個口数	9(03)	出荷する合計個口数
12	輸送会社発店名	K (10)	
13	輸送会社着店名	K (10)	
14	物流ラベルバーコード	X(24)	店舗コード：9(08) 出荷個口：9(03) 出荷総個口数：9(03) 送状伝票：9(10)

表示位置

荷 受 人	店舗住所	出荷日 年 月 日
	店舗名称 店舗電話番号 店舗コード	輸送会社着店名
記 事	納品日 物流ラベルバーコード	出荷総個口数 出荷個口
	出荷元物流センター住所 出荷元物流センター名称 出荷元物流センター電話番号	輸送会社発店名